

野菜の需給・価格動向レポート(平成２３年２月７日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類		1月の価格動向				生育及び価格の2月の見通し
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均 販売価額			
			上旬	中旬	下旬	
葉 茎 菜	キャベツ	88.05	79	99	105	・入荷見込量：13,324t (99) ・主産地：愛知 (63)、神奈川 (17)、千葉 (15) ・愛知産は、低温・少雨の影響で玉伸びせず小玉傾向、気温の上昇とともに生育の回復が見込まれるが、急激な増加とはならず、平年並みの出荷の見込み。神奈川県産は、低温・少雨の影響で巻きが悪く小玉傾向で、前年を下回る見込み。 ・小玉傾向で出荷量が少なめと見込まれることから、価格は平年よりやや高めで推移する見込み。
		79.74	80	100	109	
	ねぎ (関東：白ねぎ。 関西：青ねぎ)	229.99	289	244	238	・入荷見込数量：4,456t (102) ・主産地：千葉 (38)、埼玉 (32)、茨城 (9)、群馬 (8)、輸入 (6) ・千葉産は、低温・少雨の影響で出荷量は平年を下回る。埼玉産は、1月の低温・少雨の影響で品質の劣化や収穫作業の遅れがみられ、出荷量は少なめとなっていたが、今後は気温の上昇とともに収穫作業が進み、出荷量が増加する見込み。 ・出荷量が少なめと見込まれることから、価格は平年を上回って推移する見込み。
		450.51	438	398	403	・入荷見込数量：220t (99) ・主産地：徳島 (27)、大阪 (17)、高知 (15)、奈良 (13)、香川 (8)、群馬 (7)
	はくさい	64.34	46	44	47	・入荷見込量：12,351t (100) ・主産地：茨城 (66)、群馬 (19)、兵庫 (10) ・茨城産・群馬産ともに、生育が順調で安定した出荷の見込み。 ・消費の盛り上がり欠けるので、価格は平年よりやや低めに推移する見込み。
		76.33	57	56	58	・入荷見込量：4,000t (90) ・主産地：愛知 (28)、兵庫 (15)、宮崎 (13)、茨城 (12)、熊本 (8)、福岡 (7)
	ほうれんそう	307.66	462	494	520	・入荷見込量：1,711t (97) ・主産地：群馬 (27)、茨城 (23)、埼玉 (22)、千葉 (20) ・群馬産は、低温・少雨の影響で、前年比1割減程度の出荷量で推移している。茨城産も低温・少雨の影響で、前年より少なめの出荷量の見込み。 ・出荷量が平年を下回ることから、価格は平年より高めに推移する見込み。
		341.25	424	483	546	・入荷見込量：680t (100) ・主産地：徳島 (67)、福岡 (18)
	レタス	259.83	173	221	280	・入荷見込量：6,708t (99) ・主産地：静岡 (33)、香川 (13)、兵庫 (12)、千葉 (8)、熊本 (7)、福岡 (5) ・静岡県・香川産ともに、低温・少雨の影響で小玉傾向、降雨があれば出荷量の回復があるが、このまま少雨が続けば前年の出荷量を下回る見込み。 ・出荷量が減ると見込まれることから、価格は平年より高めに推移する見込み。
		238.68	175	211	274	・入荷見込量：1,100t (102) ・主産地：兵庫 (54)、徳島 (20)、香川 (12)
	たまねぎ	76.15	152	153	149	・入荷見込量：7,246t (90) ・主産地：北海道 (77)、輸入 (17) ・北海道産は、小玉傾向かつ成品率が悪いことから、出荷量は平年を下回る見込み。 ・北海道産が不作であることから、価格は平年より高めに推移する見込み。
		76.15	145	153	154	・入荷見込量：3,100t (90) ・主産地：北海道 (64)、兵庫 (22)、大阪 (6)
果 菜	きゅうり	370.98	333	330	336	・入荷見込量：4,599t (100) ・主産地：宮崎 (22)、高知 (16)、千葉 (16)、群馬 (11)、茨城 (9)、埼玉 (5) ・宮崎産は、今のところ降灰の影響も少なく、生育が順調で平年並みの出荷となっているが、出荷の谷間になることから2月後半から3月にかけては出荷量は減少の見込み。高知産は、少しずつ暖かくなっていることから、生育・出荷ともに順調な出荷の見込み。 ・価格は、平年並みで推移する見込み。
		350.33	326	312	329	
	トマト	332.6	377	373	341	・入荷見込量：4,667t (99) ・主産地：熊本 (37)、愛知 (12)、栃木 (12)、宮崎 (6)、福岡 (6)、群馬 (4)、静岡 (4)、千葉 (3) ・熊本産は、天候の回復とともに生育は順調で、前年並みの出荷の見込み。愛知産は、12月まで遅れていた分が1月になって回復し前年より多めの出荷量だったが、徐々に前年並みの出荷量となる見込み。 ・価格は、平年並みに推移する見込み。
		311.06	355	348	329	・入荷見込量：800t (100) ・主産地：熊本 (48)、福岡 (20)、愛知 (12)
	なす	389.03	332	366	373	・入荷見込量：1,815 (99) ・主産地：高知 (58)、福岡 (17)、佐賀 (7) ・高知産は、生育・出荷ともに順調で平年並みの出荷量の見込み。福岡産は、低温と降雪などの影響から、少なめの出荷量量となっており、今後も花芽がついていないことから、急激な増加は見込めず、少なかった前年並みの見込み。 ・価格は、高知産が順調な出荷が見込まれることから、平年並みで推移する見込み。
		397.74	324	359	367	・入荷見込量：340t (101) ・主産地：高知 (26) 福岡 (24)、熊本 (24)、岡山 (16)
	ピーマン	501.13	340	532	630	・入荷見込量：1,129t (100) ・主産地：宮崎 (40)、茨城 (23)、高知 (21)、鹿児島 (14) ・宮崎産は、今のところ降灰の影響も少なく、生育・出荷ともに順調で平年並みの出荷量の見込み。茨城産は、低温・少雨の影響でやや少なめの出荷量となっており、今後もやや少なめの出荷量となる見込み。 ・茨城産が少なめと見込まれることから、価格はやや高めで推移する見込み。
		467.19	304	499	591	・入荷見込量：240t (86) ・主産地：宮崎 (68)、高知 (21)、鹿児島 (8)
根 菜	だいこん	83.19	52	51	64	・入荷見込量：11,617t (100) ・主産地：神奈川 (63)、千葉 (28)、 ・神奈川県産は、低温・少雨の影響で小ぶり傾向で前年より少なめの見込み。千葉産は、平年並みの出荷量の見込み。 ・価格は、少雨の影響で小ぶり傾向で出荷量が減る見込みで、平年より低めで推移している価格が上昇し、平年並みで推移する見込み。
		84.7	47	51	65	
	にんじん	96.24	131	130	133	・入荷見込量：6,451t (93) ・主産地：千葉 (78)、埼玉 (12)、茨城 (6)、輸入 (0.2) ・千葉産・埼玉産は低温・少雨の影響で、前年より1割～2割減の出荷量の見込み。 ・出荷量が少なめと見込まれることから、価格は平年よりやや高めで推移する見込み。
		104.73	105	116	118	・入荷見込量：2,000t (95) ・主産地：鹿児島 (42)、長崎 (27)、愛知 (18)

種類		1月の価格動向				生育及び価格の2月の見通し	
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均 販売価額				
			上旬	中旬	下旬		
い も	さといも	217.95	309	304	285	・埼玉産は、夏の少雨の影響で小玉傾向、前年の出荷量を約2割下回る見込み。 千葉産も夏の少雨、10月の降雨の影響で、生育不良がみられ、前年の出荷量を下 回る見込み。 ・価格はやや高めで推移する見込み。	
		219.65	351	291	263		
	ばれいしょ	88.17	146	143	142		・北海道産は、夏の高温の影響で小玉傾向、空洞果多く、玉つきも悪く、出荷量 は少なかった前年を下回る見込み。鹿児島産は、年末からの降雪や低温の影響 で、前年を下回る見込み。 ・価格は、引き続き平年より高めで推移する見込み。
		88.17	138	140	137		

- 1) 平均価格は、過去9年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)。1) 入荷見込量は関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。さといも(近畿)は前年実績。
- 2) 旬別平均販売価額の背景なしは保証基準額を上回るもの。背景ありは下回るもの(消費税は除く)。2) 主産地は東京都及び大阪府中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
- 3) 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。3) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したものである。

2 野菜の需要動向

家計調査でみると、 12月の1人当たりの 生鮮野菜の購入量 は、5,177gで対前年 は99%、購入金額 は、1,887円で同 108%となり、購入量 はほぼ前年並みに回 復し、購入金額は引 き続き対前年を上 回っている。 また、小売物価統 計によると、1月の キャベツの小売価格 は183円で過去5年平均 比97%、レタスは 505円で同82%とな り、キャベツ、レタ スともに前年を下 回っている。	1 生鮮野菜の購入量及び金額							
	(1人当たりの購入量、金額)							
年 月	過去5か年平均		平成21年		平成22年			
	購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	前年比	金額(円)	前年比
1月	4,130	1,521	4,277	1,548	4,240	99	1,551	100
2月	4,325	1,548	4,536	1,529	4,461	98	1,574	103
3月	4,675	1,690	4,799	1,685	4,970	104	1,768	105
4月	4,758	1,783	4,783	1,805	4,518	94	1,804	100
5月	5,127	1,884	5,216	1,918	4,925	94	1,965	102
6月	5,042	1,856	5,180	1,888	5,026	97	1,907	101
7月	4,471	1,668	4,645	1,648	4,264	92	1,697	103
8月	4,330	1,703	4,321	1,752	4,241	98	1,733	99
9月	4,913	1,783	5,141	1,828	4,605	90	1,818	99
10月	5,382	1,807	5,691	1,767	4,994	88	1,959	111
11月	5,024	1,569	5,307	1,560	4,678	88	1,774	114
12月	5,185	1,797	5,213	1,751	5,177	99	1,887	108

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯農林漁家世帯を除く)」

2 主要野菜の月別小売価格(東京都都区部)の推移									
(単位：円/kg)									
	キャベツ			レタス					
	過去5カ 年平均	平成23年	5カ年 比 (%)	過去5カ 年平均	平成23年	5カ年 比 (%)			
H22.7月	149	164	110	315	317	101			
8月	159	166	104	449	536	119			
9月	153	155	101	472	515	109			
10月	146	192	132	419	668	159			
11月	129	265	205	339	520	153			
12月	146	185	127	456	393	86			
H23.1月	189	183	97	618	505	82			
2月	173		0	496		0			
3月	181		0	455		0			
4月	250		0	464		0			
5月	185		0	399		0			
6月	159		0	360		0			

注1：過去5カ年はH22.7～はH17～H21、H23.1～はH18～H22の平均
注2：1月の値は、1月中旬の速報値

資料：総務省統計局「小売物価統計調査報告」

3 野菜の輸入動向

<p>平成22年12月までの輸入動向を貿易統計で見ると、生鮮野菜は前年比133%の82万トン、輸入野菜全体では、同114%の250万トン、うち中国産は同117%の128万トンとなり、前年を大きく上回った。</p> <p>また、12月の生鮮野菜の輸入量は、対前年比167%、輸入量全体では同124%、うち中国産は同128%となり、大きく増加している。</p>	野菜等の輸入数量の推移について						
	(単位：トン、%)						
区分	平成20年		平成21年		平成22年1月～12月	平成22年12月	
		前年比		前年比	前年同期比	前年同期比	
生鮮野菜	602,733	84	615,271	102	820,687	133	167
加工野菜	1,660,663	93	1,569,627	95	1,677,840	107	106
野菜輸入量合計	2,263,395	90	2,184,898	97	2,498,527	114	124
うち中国産野菜合計	1,150,352	81	1,098,415	95	1,284,449	117	128
中国産シェア	51		50		51		

主な野菜の輸入動向						
(単位：トン、%)						
品目	輸入先	(A)2010.1	(B)2011.1	(B)/(A)		
たまねぎ	合計	23,776	29,473	124		
	中国	14,085	14,348	102		
	米国	9,405	15,103	161		
にんじん	合計	1,087	2,176	200		
	中国	1,036	1,881	182		
	オーストラリア	24	199	829		
ねぎ	合計	3,452	2,779	81		
	中国	3,450	2,778	81		

資料：ページ探（原資料）財務省「貿易統計」

資料：農林水産省「植物防疫統計」（2011.1）は、1月第4週までの速報値である。

4 トピック

宮崎県・鹿児島県内の降灰地域における
主な野菜の指定産地

1月26日からの新燃岳の火山活動の降灰による被害が、宮崎県・鹿児島県において発生している。両県には、きゅうりやピーマンなどの指定産地があり、東京中央卸売市場への出荷量も多い。

被害状況の聞き取りを実施したところ、施設野菜のピーマンやきゅうりについては、ハウスの灰の除去作業のため収穫に手がまわらず、その間の出荷量が減少したが、今のところ大きな影響はなかった。

また、指定産地以外で、冷凍用のほうれんそう等が灰に埋まり一部収穫が不能になるなどの被害があった。

今のところ大きな影響はないが、今後降灰による日照不足が続くと生育に影響が及ぶことも考えられ、注視が必要である。

※原資料：気象庁

【凡例】

（宮崎県）	桃	： 冬春きゅうり・冬春ピーマン
	橙	： 冬春きゅうりのみ
	黄緑	： 冬春ピーマンのみ
（鹿児島県）	青	： 冬春ピーマンのみ

降灰地域における野菜の被害状況

（指定産地）

県名	品目	指定産地名	状況
宮崎県	きゅうり	「宮崎」等	降灰の際ハウスの灰を取り除くため、収穫に手がまわらずその分減少したが、今のところ大きな影響なし。
	ピーマン	「西都」等	降灰の際ハウスの灰を取り除くため、収穫に手がまわらずその分減少したが、今のところ大きな影響なし。
鹿児島県	ピーマン	「志布志」等	影響なし

（指定産地以外）

県名	品目	状況
宮崎県	ほうれんそう（冷凍用）	生育初期のもの等は一部収穫が不能となり影響あり。
	だいこん	乾燥中のだいこん（切干大根用）への降灰で、影響あり
	はくさい	灰に埋もれたので、外葉をとって出荷
	キャベツ	灰に埋もれたので、外葉をとって出荷

《大規模生産者・法人の皆様への窓口を開設しました！（直接契約課）》

★野菜ソムリエの旬ナビゲーション「ベジシャス」 http://www.alic.go.jp/y-suishin/yajukyu01_000076.html

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、太田、三部 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484□